

三番町共用会議所



【沿革】

三番町共用会議所は、明治・大正に活躍した「山縣有朋」公爵の邸宅跡に建てられた国の会議所です。

当時の建物は、先の大戦で焼失しましたが、山縣有朋公が作庭した庭園跡と明治天皇の行幸を記念した碑が残り、往事が偲べれます。

また、当会議所の別館は、戦後日本を代表する建築家の一人、「大江宏」の設計により建築されたものです。大江宏はモダニズムと日本の伝統様式を併せ持った建築意匠で知られ、代表作は大阪万国博覧会の日本館、国立能楽堂などがあります。

三番町共用会

議所案内図

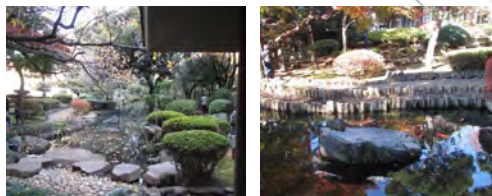
①石碑

明治天皇がこの地に行幸（明治18年10月）されたことを記念して、山縣有朋が建立、表面には山縣有朋が詠んだ和歌が彫られています。



②庭園

明治18年に山縣有朋が建てた邸宅跡に残る庭園、往時が偲ばれます。



③三段の滝と池

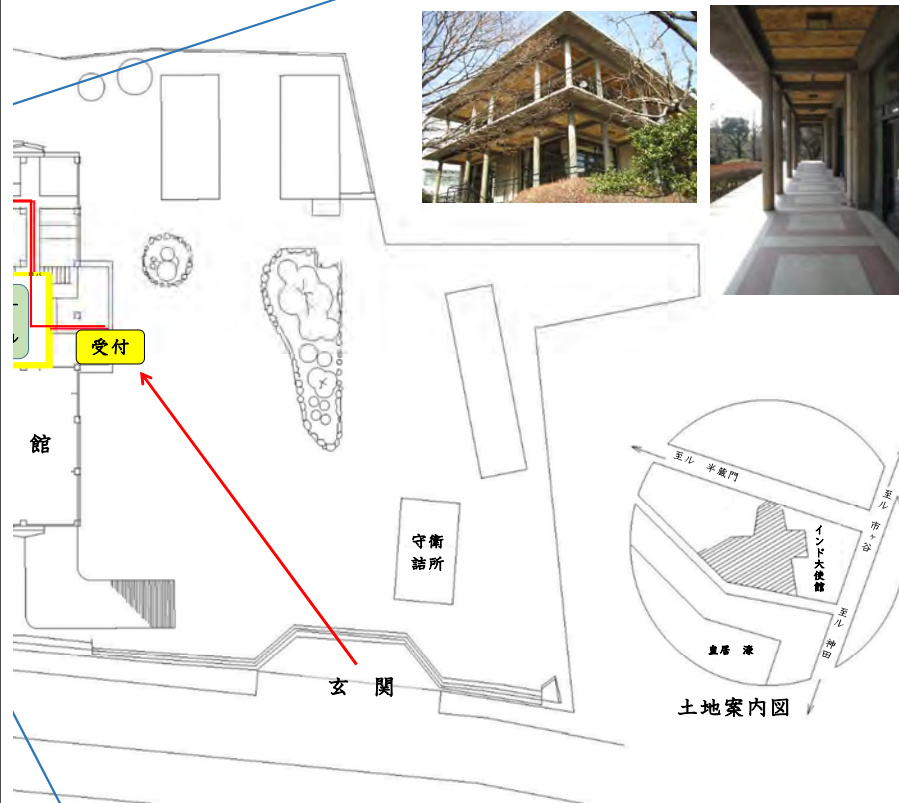
山縣有朋が京都に築庭した「無鄰庵」と共通する三段の滝が設けられ、自然の水の音を奏でています。

池には新潟県小千谷市の錦鯉を放っています。



⑤三番町会議所別館

昭和の建築家大江宏が設計し、昭和29年に建築されています。細い柱のバルコニーが特徴的です。



④灯笼

庭園内の灯笼は、土台が六角形であることから、江戸後期から明治初期の技法を用いられていると考えられ、山縣有朋邸のものが現存していると思われます。



山縣 有朋



山縣有朋（1838-1922）は、幕末から明治、大正に活躍した長州藩出身の軍人であり政治家です。少年時代には吉田松陰が指導した松下村塾に学び、同塾で学んだ高杉晋作が創設した奇兵隊で、「軍監（副隊長）」として倒幕運動に活躍しました。明治政府では、日本陸軍、地方自治制度、近代官僚制度の構築などに関与し、第3代・第9代内閣総理大臣、枢密院議長、軍人としては陸軍大将（後に元帥）などの要職を歴任しています。一方で、プライベートでは造園に造詣が深く、築庭構想の名手と評価されています。

大江 宏

建築家大江宏は、昭和13（1938）年に、東京帝国大学工学部建築学科を卒業し、三菱地所の建築部技師などを経験して、昭和21年に大江建築事務所を設立しています。また教育者として昭和23年法政大学工業専門学校教授、25年法政大学教授に就任しています。法政大学ならびにその関係施設の建築設計を行いインターナショナル・スタイルの一連の作例を発表。昭和58年には日本の伝統建築を生かした国立能楽堂を設計するなど、独創的な建築家として知られています。



明治天皇行幸碑文概略

今年、十月十九日

今上天皇が有朋の私邸に行幸され、光榮に預かること大である。又、銀杯、貨幣を下賜される。有朋は謹んで来国光の刀一口及び松蔭先生の書二幅献上した。

この日、宴に侍する者は、皇族、内閣諸侯及び武官若干名なり。（陸軍）戸山学校の下士が銃剣技を奏し、宮内官吏等は、刀槍術を演じ、御覧頂いた。饗応の際、夕刻となり陸軍楽隊に演奏させる。夜になり、多くの球燈を点け、煙火を放つ。既に儀仗兵の隊列の準備の知らせが入り、龍旗（錦旗）は宮城に還られた。嗟有朋の幸この上なし。ここに臨幸の始末を記し、併せて二品の由来を録し、将来に伝える。

明治十八年十一月

従三位 伯爵 山縣有朋 謹んで識るす。

碑文和歌

天津かせ

えたをならさぬ

君かよは

こゝろ

のとけく

匂ふ梅かゝ



三番町共用会議所の代表的な樹木

○ メタセコイヤ



○ アカマツ



○ モミジ



○ カヤ



○ ギョイコウ



○ オオムラサキツツジ



○ スダジイ



○ シダレザクラ



○ ソメイヨシノ



別館

東屋

池

○ サルスベリ



○ キンモクセイ



○ ウメ



○ カイドウ



○ ウバメガシ



○ ベニカナメモチ



○ ツツジ



館

○ クロマツ



本

本館
入口

正面玄関

警備員
詰所

三番町共用会議所関連年表

- 明治14年（1881年）
4月7日 農商務省設立
- 明治18年 山縣有朋公私邸として竣工。設計者 片山 東熊
洋風建築史に残る建物であった。外部装飾はないが、屋内装飾は暖炉の大理石
前飾り大鏡等 外国製の豪華設え。馬車庫、馭者部屋、馬丁部屋等
＊建坪(本館)248坪、延坪335坪、付属建物226坪
- 明治18年
10月19日 明治天皇行幸
- 明治18年
11月 行幸記念碑建立
- 明治19年
7月10日 内務大臣兼農商務大臣 就任
就任後、山縣有朋公私邸を国が農商務大臣官舎として購入。
- 大正12年
9月1日 関東大震災により損壊大破。
- 昭和18年 大臣官舎に改築。(17年1月起工～18年10月竣工)
- 昭和20年
5月24日 空襲により、大部分の建物を焼失。再建の目処が立たぬまま放置。
- 昭和27年
8月 旧本館(木造:一部二階建て延坪248坪)竣工
- 昭和29年
6月 別館(現存 RC造 総二階建て 延坪252坪)竣工 設計 大江 宏
- 昭和48年 本館(現存 RC造 総二階建て 延坪631坪)改築
(47年8月起工～48年3月竣工)
- 昭和55年 庭園(池、東家、散策道、樹木等)の整備
- 昭和56年(1981年)
4月7日 農林水産省 100年祭

※平成11年4月から全省庁が利用する共用会議所となっています。

お問合せ先

三番町共用会議所
03-3261-5166

大臣官房予算課
代表:03-3502-8111(内線3312)

無断で複写複製する
ことを禁じます。

令和元年11月作成